

会 議 録

- | | |
|------------|---|
| 1 会議の名称 | 令和7年度 第3回熊取町下水道事業経営委員会 |
| 2 開催日時 | 令和8年2月6日(金) 午後2時30分～午後3時30分 |
| 3 開催場所 | 熊取町役場 北館3階 大会議室 |
| 4 議題 | 案件1 熊取町下水道ビジョン(経営戦略)中間見直し
【概要版】について
案件2 その他 |
| 5 公開・非公開の別 | 公開 |
| 6 傍聴者数 | 0人 |
| 7 審議等の概要 | 案件1 熊取町下水道ビジョン(経営戦略)中間見直し【概要版】
について
<u>・(将来収支のシミュレーションについて)整備エリアが拡大し、下水道普及率が増えるにも関わらず、有収水量が減少するのは何故か。</u>
⇒ 近年の人口減少傾向が著しく、整備エリアの拡大に伴う下水道普及人口の増加より、下水道整備済区域における人口減少の方が大きいと見込んでおり、1人1日当たりの使用水量も減少すると想定しているため。
<u>・都市計画マスタープランにおける立地適正化計画と下水道ビジョンにおける整備計画の整合性は。</u>
⇒ 下水道事業の目的である「公共用水域の水質保全」の性質上、住民の方々がお住まいの地域の雑排水の処理を下水道により実現していく必要があるため、コンパクトシティの重要性は理解しているものの、下水道整備への投資を全く止めるということは困難。
<u>・土木工事は膨大な経費を要する事業である。浄化槽でも公共用水域の保全は達成できるため、浄化槽区域には補助金を交付することで公平性を担保しつつ、整備は幹線整備に注力することで、投資額の圧縮を図ることが可能では。</u> |

⇒ 今回の中間見直しにおいて、あらためて整備方針・計画の検討が必要であると認識しており、次期ビジョンの策定においては、下水道エリアの縮小や浄化槽エリアの指定、企業会計として採算性がある効率的な整備等を含めた議論を進めたい。

・今後の使用料の見直し（改定）スケジュールは。

⇒ 今回（令和7年度）の中間見直しから4年後にあたる令和11年度から令和12年度にかけて、次期下水道ビジョン（計画期間：令和13年度～令和22年度）の策定とあわせて、見直しを実施する予定。

・将来収支のシミュレーションにおいて、何故、有収水量が減少し使用料収入も減少する見通しを立てたのか、財政状況が最も厳しくなるパターンを採用するのかという考え方や理由を明確化するべきでは。

・建設物価上昇率について、令和3年度までの数値を採用しているが、令和4年度はかなり上昇しているため、それを踏まえた検証も必要では。

⇒ 物価上昇率については、第2回会議でもご指摘をいただいたところで、現時点における確定値を採用している。物価上昇率や国補助金の動向等については、今後の各年度の予算要求時に適時確認を行い、当期純利益が確保できるよう事業量の調整を行う。

・本日の会議で出た意見等に基づく検証の予定は。

⇒ いただいたご意見を踏まえ、再度検証した結果を書面または対面会議にてお示しさせていただく。

案件2 その他

特になし。

8 審議会の情報

名称	熊取町下水道事業経営委員会
根拠法令等	熊取町下水道事業経営委員会規則
設置期間	令和元年8月1日

所掌事項

- ・下水道事業の経営に関する計画策定の調査及び検討に関すること
- ・計画の目標達成状況の点検及び進行管理に関すること
- ・下水道事業の業務の執行に関し、適正な運営を確保する観点から必要であると町長が判断した事項に関すること

委員数

6人

9 担当課

下水道河川課